

HB通信

編集・発行 /
一般社団法人
ひょうご部落解放・人権研究所



〒 650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2 階
TEL : 078-252-8280 FAX : 078-252-8281
e-mail : blrhgy@extra.ocn.ne.jp URL : <http://blrhgy.org/>

つとむくんの



つぶやき

つとむくんのつぶやき「コメの価格から」

今、コメの価格高騰が続き、政府として引き下げのための様々な取り組みがなされつつあります。5 kg4,000 円以上になっている価格を政府の備蓄米を放出することで下げるとしています。

米価の話から少し外れますが、これほどコメの生産や流通などにおいて議論になったことが過去にあったらと思う。今回のことは、農家の収入や農業の在り方、そして人々の生活とコメ、農作物などについて考えるいい機会にはなったと思います。今まで「買えて当たり前」「毎日食卓にあって当たり前」がどのようにして保障されてきたのか。その背景などが見えてきたと言えます。

ただ、気になることがあります。米価を下げることのみが大きな声で叫ばれて議論になっているのではないかと。そう感じてしまうのは小規模の兼業農家である私だけなのでしょうか。

今回、米価の議論の中でマスコミでも言われているのが、農業規模の拡大、競争力をつける、スマート農業の推進などです。このことに反対をするわけではありませんが、現在の農業の状況が議論の土台にほとんどあがっていないように感じます。

日本の農業は小規模農家が大部分を占めています。被差別部落（以下部落とする）の多くも小規模・零細農家です。中山間地に多く、歴史的経緯の中で、条件が不利な農地であったりします。部落の人たちは差別の中で、支え合い、何とか農業を営み、農地を守り、村のコミュニティーを作ってきたのです。

そのような環境で、規模の拡大やスマート農業を進められるような状況ではありません。それも今は限界にきています。農村では、少子高齢化により若者が減り、農業を営む人たちの高齢化と人口減少に歯止めがかからないのです。国の施策を進めていけば、農業を営む人が一層減り、耕作放棄地がより増え、鳥獣被害が大きくなり、コミュニティーそのものが維持できなくなっていくます。

耕作放棄地が増えれば自然環境の破壊にもつながり、災害がより起こることになります。

農業規模の拡大と小規模農業、どちらか一方を対象とした施策ではなく、様々な条件の中で、それぞれが営んでいける施策をするのが行政の役割ではないのでしょうか。

今号のもくじ

- ▶ 1 面 … つとむくんのつぶやき
- ▶ 2 面 … 2025 年度人権教育実践講座、ひょうご人権総合講座のご案内
- ▶ 3 面 … えほんの紹介『あなたってほんとにしあわせね!』
- ▶ 4 面 … 第 2 回人権セミナー / 第 59 回定時社員総会のお知らせ / 事務局から plus

(一社) ひょうご部落解放・人権研究所
事務局長 細田 勉

2025 年度 人権教育実践講座のご案内

パンフレット
はこちら→



2025 年度は兵庫県教育委員会の方を講師にお招きし、ワークショップを開催します。そのほかの講座についても、より多くの先生方の実践に生かせるような内容となっています。

■日程：2025 年 8 月 6 日(水)、7 日(火)、19 日(火)、11 月 15 日(土)

■参加資料代：単体申込：1 コマ 2,200 円

(いずれも税込) 全講座申込：全 10 コマ 22,000 円→ **19,800 円** ※2,200 円お得になります！

■会場：兵庫県立のじぎく会館 ※フィールドワークは現地集合です。

■申込方法：

【口座振込みをご利用の場合 (WEB 申込)】

①申込：右記 QR コードから Google フォームへアクセス、必要事項を入力して下さい。



②支払：参加資料代を指定口座へお支払いください。

【オンライン決済をご利用の場合】 **申込と支払いが同時に完了！**

右記 QR コードからアクセスすると、『全講座申込』『単体申込 (4,400 円)』『単体申込 (2,200 円)』の 3 種類のリンクが表示されます。いずれかを選択し、オンラインショップにて申込と支払を完了させてください。



■申込締切：2025 年 7 月 31 日(木)

■主催：人権教育実践講座実行委員会

■後援：兵庫県教育委員会

※くわしくはパンフレットでご確認ください。

2025 年度 ひょうご人権総合講座のご案内

パンフレット
はこちら→



2025 年度もさまざまな人権課題について学習いただけます。阪神・淡路大震災から 30 年の今年は、災害関連の講座もご用意いたしました。ふるってご参加ください。

■日程：2025 年 8 月 28 日(木)～12 月 18 日(木) 全 13 日・26 講座

■参加資料代：単体申込：1 講座 4,000 円

(いずれも税込) 全講座申込：全 26 講座 104,000 円→ **98,000 円** ※6,000 円お得になります！

■会場：兵庫県立のじぎく会館 ※フィールドワークは現地集合です。

■申込方法：【WEB 申込】右記 QR コードから Google フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。



【FAX 申込】研究所 HP から受講申込書をダウンロードしてお送りください。

■申込締切：2025 年 7 月 31 日(木)

※くわしくはパンフレットでご確認ください。

えほんの紹介



『あなたってほんとにしあわせね！』

(作・絵：キャサリン・アンホールト 訳：星川菜津代、童話館出版、1994年6月) 1,540円(税込)



パパとママの愛情を一身に受けて育った「わたし」にちっちな「おとうと」が生まれました。でも、赤ちゃんは話すことも座ることもできないし、いっしょに遊べません。ママは赤ちゃんにかかりっきりで、「わたし」はいつも待たされます。ママと一緒に遊びたいのに、良い子にしてねと言われます。みんなからは「あなたってほんとにしあわせね！」と言われるけれど、「わたし」はそう思わないと

きもあるのです。あるとき、赤ちゃんのお世話に疲れてしまったママの言葉で、「わたし」も赤ちゃんのお世話ができることに気づきました。お散歩に行ったり、抱っこしてあげたりするうちに、一緒に楽しめることがいっぱいあり、おとうとのことが大好きになります。そして、おとうとと一緒にいると、みんなからこう言われるようになりました。「このあかちゃんってほんとにしあわせね！」

「わたし」の色んなきもちに心揺さぶられる一冊です。



ほんわかしたイラストがとってもかわいい、大好きなキャサリン・アンホールトさんの絵本ですが、絵本に出てくる「わたし」のように、さみしい思いをたくさんさせた（今もさせている）であろう長女ちゃんのことを思うと、読むたびに胸がキューっとなる絵本です。次女ちゃんのこと大好きで、生まれてからずっと、ごはんを食べさせたり、抱っこしたり、手あそび歌を披露したりとお世話してくれる長女ちゃん。ついつい上の子を後回しにしている日々の行動を反省しつつ、この絵本を読むときには「次女ちゃんはおねえちゃんが長女ちゃん、すごいしあわせだよ」と伝えています。

近頃の次女ちゃんは、イヤイヤ期の真ただ中。長女ちゃんはおもちゃをとられたり、髪の毛をひっぱられたりすることもしばしばで、よく泣かされています。それでも次女ちゃんに優しく接する長女ちゃんをみて、次女ちゃんは本当に優しいお姉ちゃんのもとに生まれて幸せだなあとします。次女ちゃんがもう少し大きくなり、この絵本を読んでお姉ちゃんの優しさに気づいたら、もっと幸せを感じるのではないかなと思います。

帰宅後、「おなかすいた！」と泣く子を横目に大急ぎでごはんを作り、「お茶ください」「お口ふきください」のご要望にお応えして、そのうちにお茶をこぼされて床をふきふき、自分のごはんもそこそこに、大いに散らかった食べこぼしを片付けて、洗濯物、お風呂、明日の保育所の準備…(><)と、やらなくてはいけないことに追い詰められ、途中で繰り出される「だっこして～」 「一緒に遊んで～」に、「ちょっとだけ待ってね！」と言ってしまう毎日です。この絵本を読むと、ふっと大事なことに気づかされ、ふたりの「して～」を受けとめようと立ち止まることができます。夫への不満とストレスを友人と共有しながら(笑)、気持ちと時間のゆとりを生み出す方法を試行錯誤しています。(ひ)

(一社) ひょうご部落解放・人権研究所 2025 年度第 2 回人権セミナー 「私とわたしが語る「部落フェミニズム」」

今年 3 月、エトセトラブックスより出版された『部落フェミニズム』。

9 人の部落女性が、それぞれの活動や研究の現場から「部落」を語り直し、その「生」を綴っています。編者まえがきにはこう書かれています。「本書は、今を生きる部落女性が、部落フェミニズムを掘り起こし、書き手の身体を通過された言葉をもって、未来を生きる者たちに、その思想を手渡す営みである」

今回の人権セミナーでは、2 人の著者（第 2 章「祖母、母、わたしと婦人水平社の姉妹たち」と第 4 章「私が生きのびるための思想・生活・運動」）の対談を通して、その生の言葉を受け取りたいと考えています。

- 日時：2025 年 6 月 14 日（土）**13：30～15：30** （注）時間がいつもと異なります！
- 講師：宮前千雅子さん（関西大学人権問題研究室委嘱研究員）
石地かおるさん（自立生活センターリングリング障害者スタッフ）
- 場所：兵庫県立のじぎく会館 201 号室
神戸市中央区山本通 4 丁目 22 番 15 号
- 定員：80 人（会場）／100 人（オンライン）※zoom ミーティングを使用します。
- 参加資料代：一般 1,000 円、賛助会員・学生・障害者 500 円、正会員無料



↑ 申込はこちら

【正会員の皆さま】

第 59 回定時社員総会のお知らせ

- 日時：2025 年 6 月 14 日（土）10：00～
- 会場：兵庫県立のじぎく会館 201 号室
- 議案：第 1 号議案 2024 年度事業報告の件
第 2 号議案 2024 年度収支決算の件
第 3 号議案 2024 年度監査報告の件
第 4 号議案 2025 年度事業計画（案）の件
第 5 号議案 2025 年度収支予算（案）の件
第 6 号議案 役員改正の件

※特別会員（団体）の方は無料クーポンをご利用ください。

- 申込方法：右上 QR コードからどうぞ（Google フォーム）

▶ 託児サービスあります

人数に限りがございますので、ご希望の方はご相談ください。

※締切：6 月 3 日（火）まで

※その他、配慮が必要な方はお知らせください。

事務局から plus

- 91 歳女性店長一人の食堂があります。ご飯やおかずは自分で運び、片付けや会計もセルフで知らず知らずのうちにお客さんが応援団に。豊かな時間がお腹も心も満腹にしてくれます。（N）
- 田植えが終わりました。さあ、今年はどうな気候になるのかな。田の水の管理と畔の草の管理がこれから実りの秋に向けての仕事です。新米の値段はいくらになるのかな？（Ho）
- だんだんと暑くなってきました。なのにうちのクーラーは寿命のような。設置業者の繁忙期にない前に買い換えたいです。でももう手遅れでしょうか。そんな気がしてきました。（ka）
- 読む時間もないのについ増えていく「積ん読本」。以前同僚 K さんから聞いた「背表紙読書」という言葉を抛り所に放ったらかしにしましたが、「ウサギ小屋」のわが家ではそろそろ限界かもしれません（H）
- イヤイヤ期で「全てが嫌」な 1 歳と、母の口調をそっくり真似て言い返してくる 5 歳に泣きたくなる毎日ですが、「ママちゃん♡」とにっこりされると全てがチャラになるのは子育て七不思議の一つです（ひ）

